



3次元形状測定と構造解析

製品をパーツ毎に解体して形状を3次元測定してデジタルデータ化し、仮想空間上で多様な解析を行います。

特徴

- ① 自動車などの部品や、構造物の形状を3次元計測します。
- ② 3次元デジタル座標をCAD、FEMなどに入力できるデータに変換します。
- ③ 複数部品の3次元データを仮想空間上で組み合わせることにより、任意断面での形状解析が可能です。

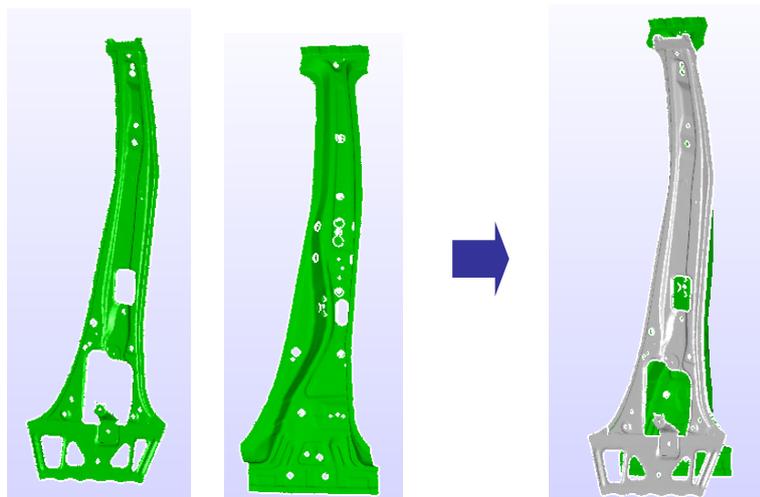
形状測定仕様

- 測定精度 : ①0.046mm、または②0.1mm (①アーム型レーザースキャナー、または②ハンディ型カメラ)
- 測定対象サイズ : ①アーム稼働範囲2500(mm)、または②一辺400~1000mmの立方体以内 (いずれも現地計測可)
- 出力ファイル形式 : ASCII点群ファイル、STLファイルなど※ (※:ファイル形式についてはご相談下さい)
- 適用例 : リバースエンジニアリング、成形部品寸法の図面との比較、強度評価など

自動車部品の測定および断面構造解析例

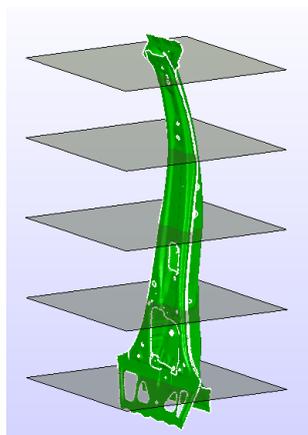
● Bピラー部品の例

モジュールを解体し、
材質・板厚などを調査

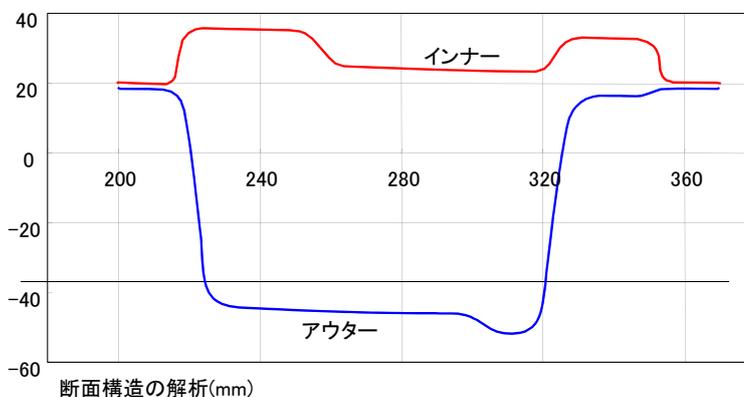


単体形状測定、データ処理

仮想空間にて組立て・位置合わせ



仮想空間にて断面カット



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2012-2018 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。